

新入生合宿研修を終えて

組織再建口腔外科学分野 片 桐 渉

平成29年4月8日（土）、9日（日）の2日間、新潟市西区のメイワサンピア新潟を会場に新潟大学歯学部新入生合宿研修が行われました。

あいにくの天候でしたが、少し遅めの桜の便りとともに編入生を含め、歯学科45名、口腔生命福祉学科26名、学生アシスタント6名、教員24名、職員3名での開催となりました。この研修は歯学部での生活をより多いものとするために、また、歯学に対する修学心を高め、教員、職員、同窓生およびクラスの仲間との交流・親睦を量ることを目的として企画されています。

私自身、他大学出身で新潟大学での新入生合宿研修は初めての参加でしたので事前に頂いたプログラムを見てその内容に驚くとともに、これまでに教職員の皆様が作り上げてこられたこの研修に大変興味深く参加させて頂きました。

第一日目からまだお互いの顔もあまり知らない参加者といきなりの合宿です。集合写真を撮影した後は、前田健康歯学部学部長のご挨拶、参加教員の自己紹介が行われ、歯学部のカリキュラムの説明、健康管理についてなど、これからの学生生

活の基本となる事柄についてガイダンスがありました。

その後、PROGテストが行われました。これは社会で求められる汎用的な能力・態度・志向である「ジェネリックスキル」を測定するもので、リテラシーとコンピテンシーの二つの観点から測定し、自身の現状を客観的に把握することを目的とするものです。受験が終わったばかりの新入生にとってここで社会人への第一歩を踏み出すことになるので、この結果は今後の参考になることでしょう。

午後からはいよいよアイスブレイキング、新入生同士での共同作業の時間です。あらかじめ決められた8～9名のグループに分かれ共通の課題に取り組みます。「砂漠に遭難した時にどうするか」という課題にグループで討論を重ね、解答を発表します。このころになると新入生たちも大分打ち解け、冗談を言いながらも真剣な議論を行う良い雰囲気が出来てきました。さらに「面接試験を再考しよう」ではK-J法の手法を用い、自身の受けた面接試験の質問内容を検討しグループごとにブ



ロダクトとして発表します。

夕食時には恒例の部活動紹介、食事後も教職員との懇談、深夜までロビーで話が盛り上がりました。

二日目は学生によるガイダンス、クラス幹事の選出、教員からの学生支援、セクハラについての説明の後、歯科麻酔科の瀬尾教授からBLS講習があり、グループに分かれ実習を行いました。

BLSを通し、医療人としての認識も深まったと思います。この二日間ではほぼ初対面であった参加者が一つの行動をとることににより絆が深まりこれからの学生生活に良いきっかけになったと思います。この合宿で体験したことを何かのタイミングで思い出して頂き、より実りのある学生生活にしてもらいたいと思います。

